

ポパイの会&ピア活動 1年のまとめ



① ポパイの会の1年を振り返って

ピア活動の一つとして、平成22年4月から行ってきた、当事者の方が中心となってセンターに集まり、悩み事や自分の話したいことをみんなでおしゃべりする「ポパイの会」をはじめ、5年が経過しました。この5年間で延べ338人の方に「ポパイの会」にご参加いただきました。この会を毎回楽しみにされている方もおり、またこの会に参加をして元気になれたから、また来週も頑張ろうとお話される方もいます。

② ポパイの会の目的

ポパイの会という名前の由来は、仕事をする時によく使われる「報告・連絡・相談」という言葉の頭文字である、「ほう・れん・そう」を、野菜のほうれん草に見立てて、アニメの登場人物のポパイの大好物である、ほうれん草のように、この会に毎回参加しておしゃべりすることで、元気になってもらえればと思い、ポパイの会という名前になりました。

このように当事者の方が集まって行う活動を「ピア活動」といいます。ちなみに「ピア」という言葉は日本語に訳すと「仲間」という意味です。

ポパイの会は、はじめての人でも気軽に参加できるように、以下のルールを事前に必ず確認しています。お話する内容は、恋愛、お金、友達、病気、ダイエット、などさまざまです。

ポパイの会でのルール



仲間作りの場

悩みを話せる場

他の人の話を聞く

情報交換の場

思いを共有できる場

相手の気持ちを尊重する場

途中で気分が悪くなったら無理をしないで休む

来て良かった、元気になれた、と思える会

ここでの話はここでだけ！



③ センターのプログラムにさわやかピアサポーターに参加して もらいました

平成25年度に1年をかけてセンターで行ってきた、ピアサポーター育成講座の受講を終了された3名のメンバーに、センターで行うプログラムにピアサポーターとして、一緒に参加してもらいました。

アートな会

絵を描いたり、粘土をこねたり、川柳をしたり、アートの事をみんなで行いました。



女子の茶話会

お菓子を作ったり、お出かけをしたり、レクリエーションをして楽しみました



ポパイの会

当事者の人たちが集まって悩み事などをお話する会です。



④ピアサポーターから今年度プログラムや地域交流のイベントに参加したことを振り返っていただきました。



プログラムを担当してみたの感想

- ・初めての頃は緊張したが、少しずつ慣れてきた。体調を崩してしまったこともあったが、周りの方々に助けられて1年間続ける事が出来た。
- ・色々な個性のあるメンバーさんが集まるので、どういう展開になるのか見えないプログラムだと思う。いろいろな成功も失敗も全て次のプログラムへのステップとなっています。

地域交流&イベントに参加した感想

- ・地域のお祭りに参加して子どもたちと一緒にプラバン作りをした。スムーズにできたと思う。子どもの真剣な表情を見ていると自分の兄弟の小さい頃を思い出した。
- ・人が大勢集まるイベントは正直それだけでキツイものがあるが、スタッフさんが地域の方や子どもに対する接し方を見て良い勉強になった。

来年度に向けての感想、希望

- ・より中身が充実したプログラム、皆が楽しんでくださるプログラムを担当できればと思う。引きこもりの人を元気づけるような事ができればぜひ参加したい。

ピアサポーターがプログラムに参加をすることがきっかけで、今まで気が付かなかったこと、新しい発見をすることができました。
また是非今年度もよろしくお願いします。

⑤平成27年度のピア活動の予定について

今年度もこのポパイの会を、ピア活動に初めて参加する人のきっかけの会として続けていく予定です。

昨年度参加していただいたピアサポーターの方には今年度も引き続きプログラムを担当していただき、プログラムを盛り上げていただきたいと思います。
また今年度は新たにピアサポーター育成講座を行い、プログラムのサポート役として活動をされる方を育成していきます。

⑥さいごに・・・

昨年度はプログラムにピアサポーターが加わり、スタッフと一緒にプログラムを実施してきました。事前の準備や打合せなど大変な部分もあったと思いますが、終わったあとのスッキリした表情を見ると、この活動を続けてきて良かったなと思います。

渋谷区社会福祉協議会では「きづきあい みとめあい ささえあい 共に生きるまち渋谷」を基本理念に地域福祉の推進を行っていますが、さわやかな一むでは渋谷区民のピアサポーターによって地域を支えていく力になれば・・・と願っています。

